



# 感染症対策指導者養成研修 施設における事例報告①

社会福祉法人浴風会  
特別養護老人ホーム第三南陽園  
サービス課長 佐々木 敬秀



# 社会福祉法人 浴風会 第三南陽園

平成14年4月開設 定員222名（内短期入所15名）

従来型 特別養護老人ホーム

2・3・4階 一般フロア（各フロア定員約62名）

5階 認知症専門フロア（定員40名）

4人部屋 44室

個室 32室

2人部屋 7室



## 社会福祉法人 浴風会病院

浴風会病院（病床数250床）

- 第三南陽園の隣に位置し、ご利用者の主治医は基本的に浴風会病院医師が担当。
- 週1回主治医が施設を訪問しご利用者の診察や処方を実施。
- 夜間・土日祝日の受診にも対応。



# 新型コロナウイルス発生前に備えていたこと

- ①感染症対策のマニュアル策定
- ②感染症対策職員研修の実施
- ③必要物品の確保
- ④初期対応セットの準備
- ⑤杉並保健所との情報共有
- ⑥職員へ不必要な外出自粛等の要請
- ⑦アルコールスプレーの配布・活用





# 初期対応セット

●感染者発生時、すぐに必要になる物品を事前に準備



- フェイスシールド
- ガウン
- 手袋
- N95マスク
- 不織布キャップ
- アルコール消毒液
- PPE（個人防護）の手順書





# 第三南陽園感染状況（2階）

1月20日

職員1名陽性

1月26日

職員3名陽性

1月25日

ご利用者8名陽性

職員2名陽性

1月27日

ご利用者1名陽性

1月28日

ご利用者4名  
陽性

1月31日

ご利用者6名陽性

職員3名陽性

1月29日

職員1名陽性

2月2日

東京都感染対策  
支援チーム来園

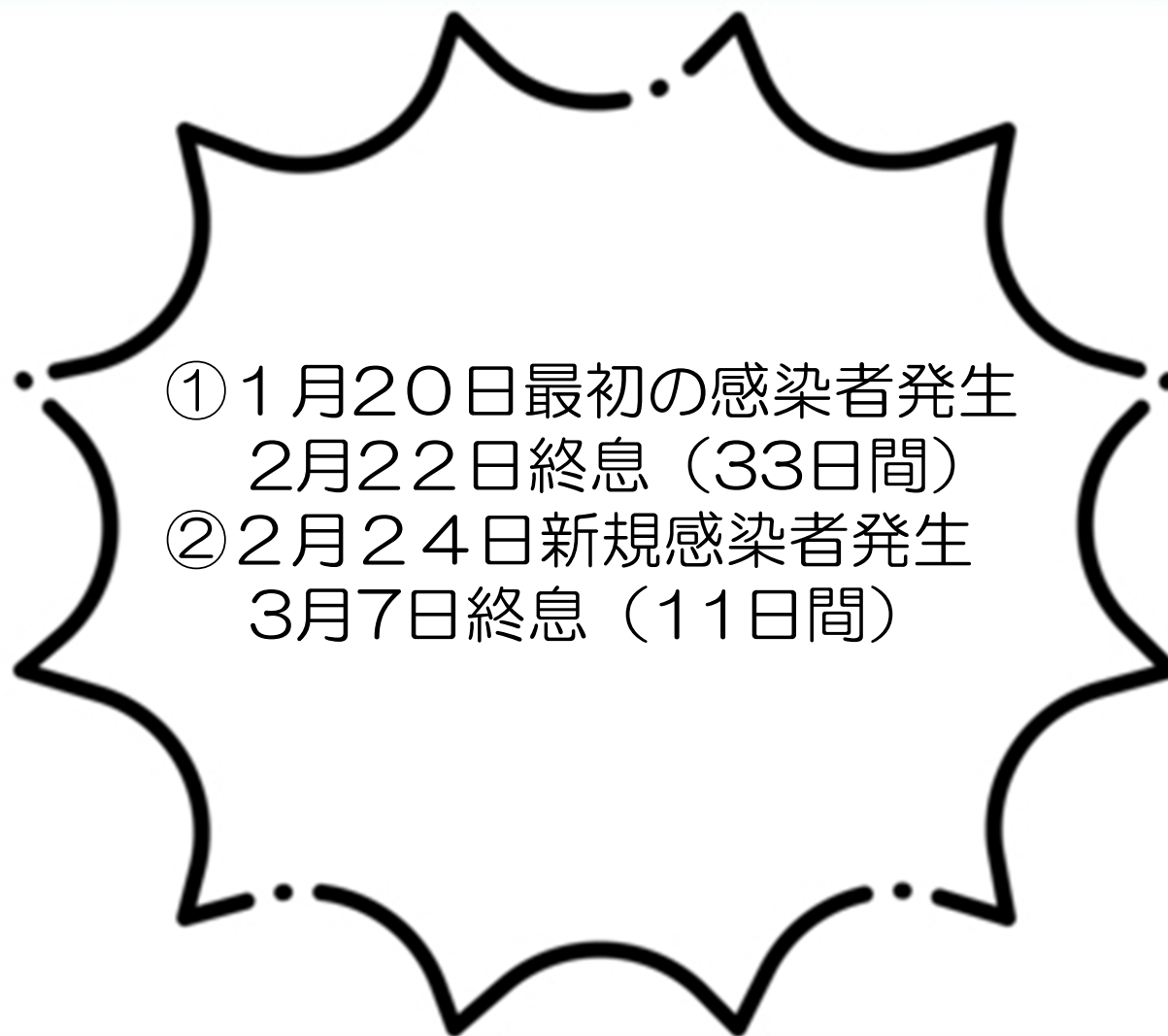


# 第三南陽園感染状況（2階）

1月20日  
職員1名



1月20日  
ご利用者  
陽性



生



職員1名陽性

東京都感染対策  
支援チーム来園



# 第三南陽園感染状況（4階）

1月27日  
職員1名陽性

2月1日  
職員2名陽性

1月31日  
ご利用者15名陽性  
職員1名陽性

2月3日  
ご利用者5名陽性  
職員1名陽性

2月4日  
職員1名陽性

2月13日  
新規感染者なし  
通常対応となる

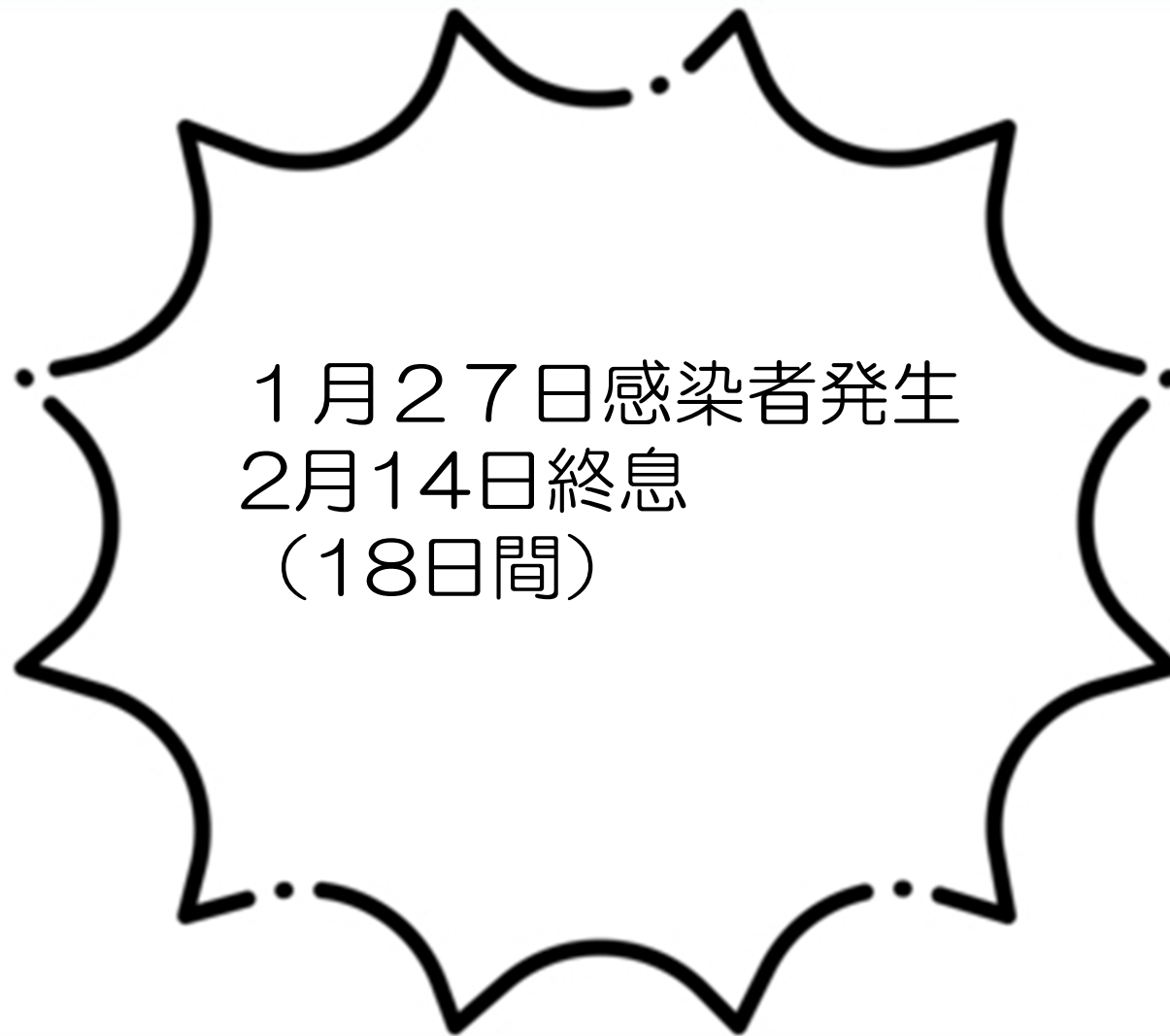
2月5日  
職員1名陽性





# 第三南陽園感染状況（4階）

1月27日  
職員1名



2  
職員

職員1名陽性

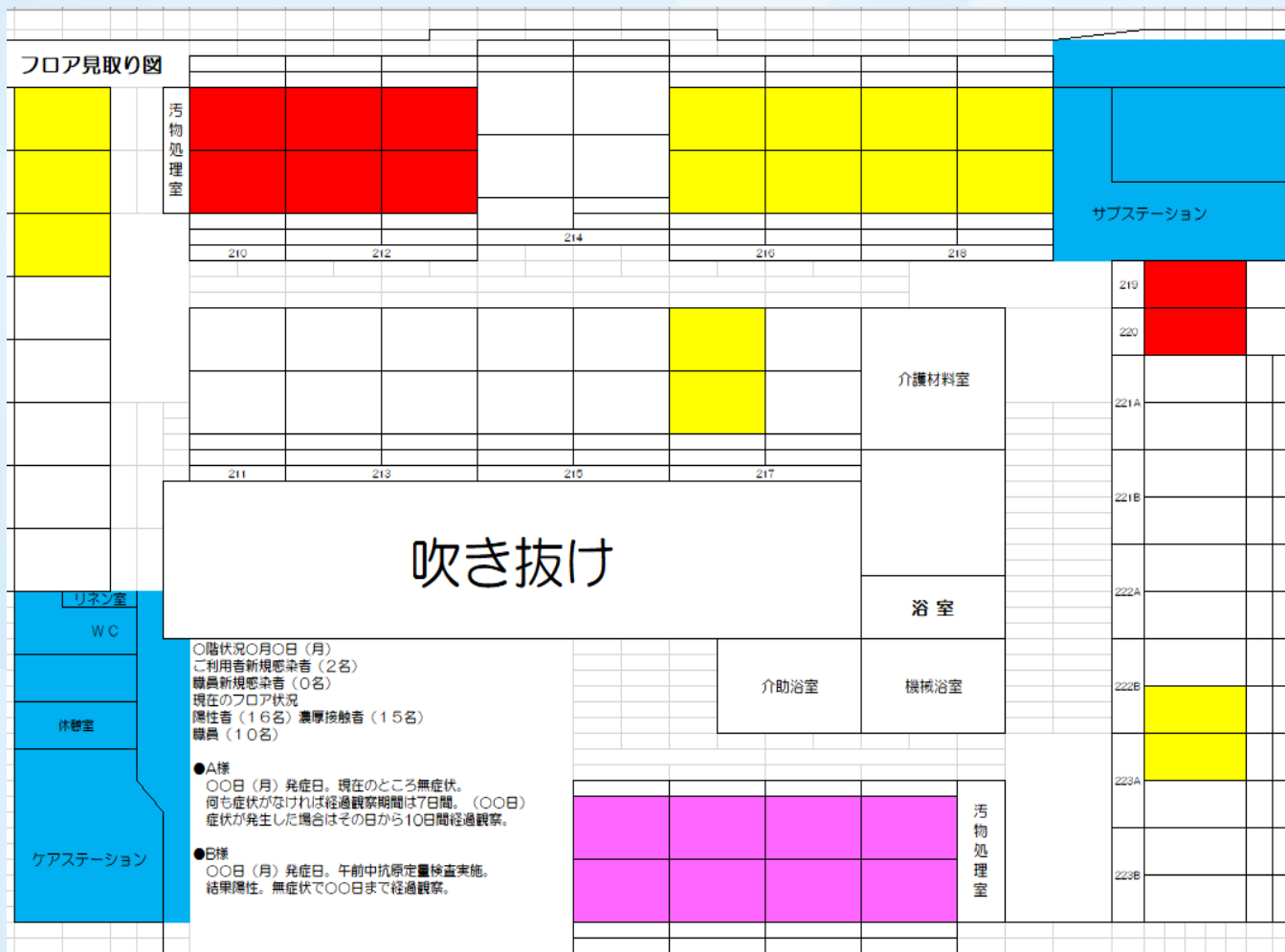
生



# 第三南陽園での対応



## 陽性者・濃厚接触者のゾーニング①



フロア全体を感染エリアとし対応開始。

陽性者（赤色）

濃厚接触者（黄色）

クリーンゾーンはケアステーションと更衣室・休憩室とした。

濃厚接触者の居室は移動せず対応。



# 第三南陽園での対応

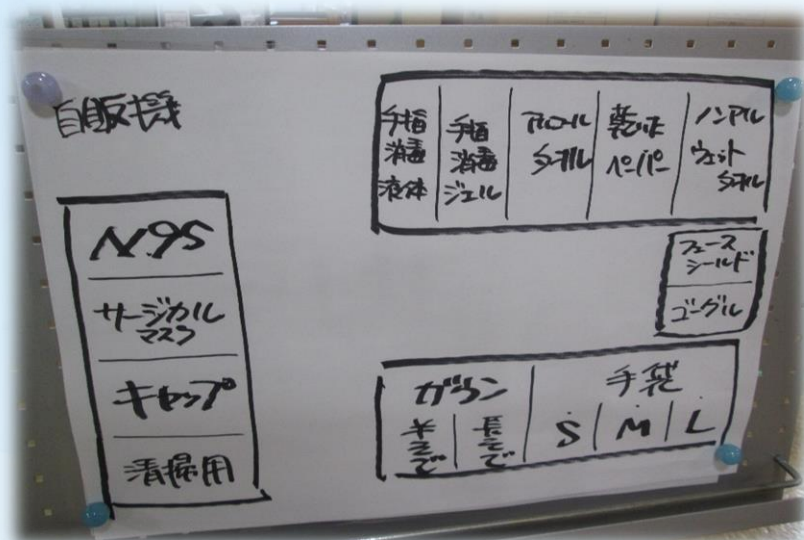


陽性者・濃厚接触者のゾーニング②





# 必要物品の確保・準備





# フロア業務の調整





## 浴風会病院との連携



- ご利用者の診察については、浴風会病院医師が毎日来園し実施。（施設看護師が対応）
- ご利用者・施設職員の新型コロナウイルス検査は浴風会病院看護師と調整し実施。
- 休日・祝日及び夜間帯の救急対応については浴風会病院医師が24時間体制で実施。必要時は来園し診察。
- 日々変化するフロア状況におけるゾーニングや対応方法のアドバイス。
- ご家族への病状の説明
- 施設全体の状況の確認（情報共有）





## 感染症会議の実施



●原則感染症が終息するまで毎日実施

●会議での検討事項

①フロア新規感染者（ご利用者・職員）

②ゾーニングの状態

③入院状況

④フロア課題の確認・対応検討

⑤保健所との連絡状況

⑥物品の状況確認

⑦ご利用者の状況

⑧職員の状況

⑨東京都感染対策支援チームからの助言内容の伝達

⑩浴風会病院との連絡事項

●議事録は施設だけでなく浴風会病院医師とも共有

### 会議参加者

施設長

管理副園長

サービス課長

主任看護師

フロアリーダー

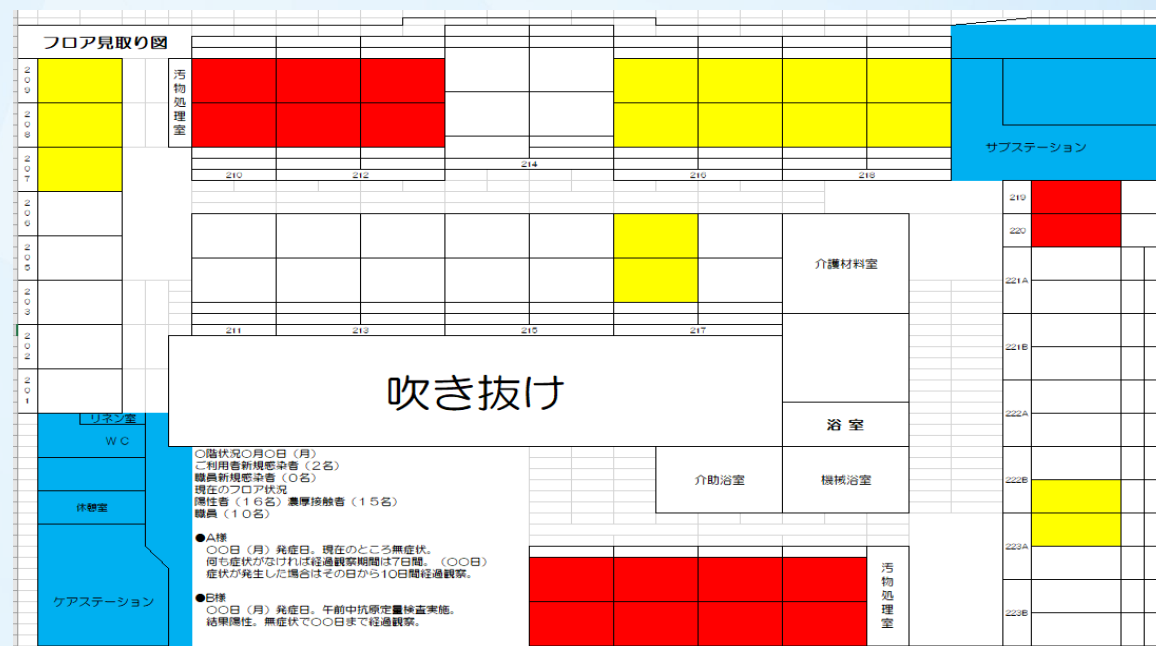
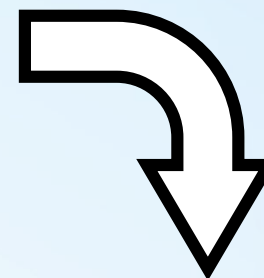
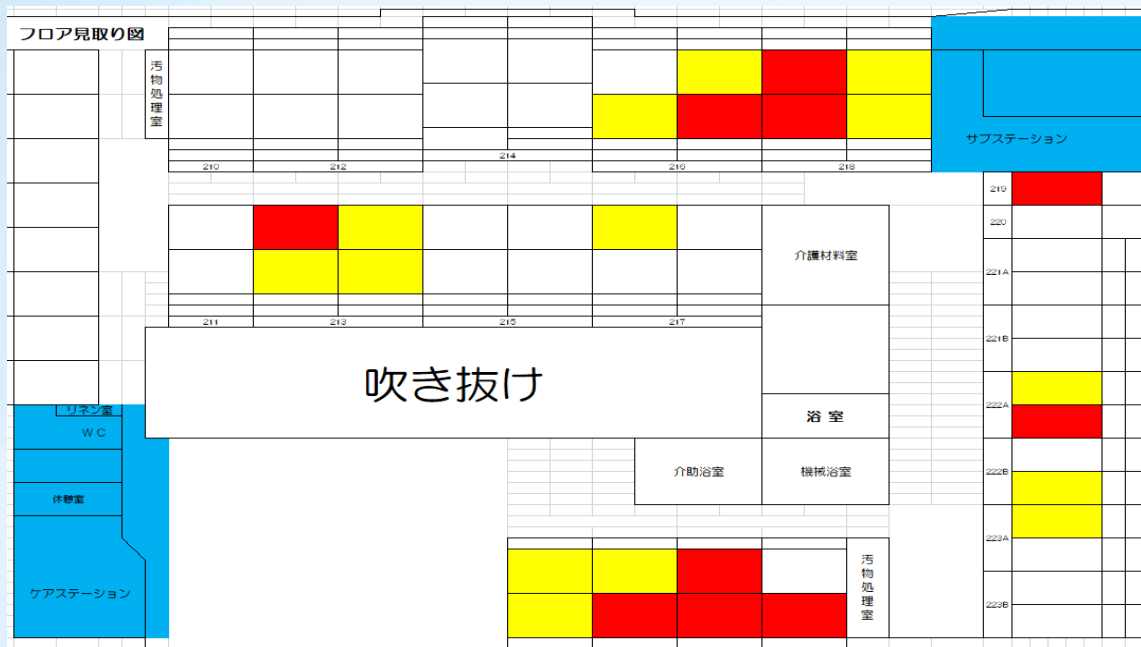
機能訓練指導員

管理栄養士

他職員



# 感染症会議資料







# 感染症会議資料（東京都感染対策支援チーム）

## 東京都感染対策支援チーム ←

←

### 第三で最も注意が必要な点←

#### ★防護着の脱衣手順←

（ここで職員が感染している可能性が非常に高い。）←

#### ★手洗い・手指消毒←

（ケアステに入る前に手を洗ってありますか？）←

←

### 感染フロアでの今後の対応（新しく追加・手順変更）←

- レッドゾーンに入る時は、今までの防護具に加えて**不織布のキャップ**を装着する。←  
（在庫分は出しております。現在発注をかけています。届き次第配布します）←
- 居室2～4部屋ごとに廊下に1台ずつ机を設置。その上に←  
『半袖使い捨てガウン』『使い捨て手袋』『消毒薬』←  
『各種オムツ』『各種パット』←  
を準備する。←
- レッドゾーン内にある陽性者と濃厚接触者の居室に入る時は上記廊下に設置してある『**半袖使い捨てガウン**』を装着して居室内に入る。居室から出る時は半袖ガウンと手袋をゴミ箱に破棄して外にでる。外にでたら**アルコール消毒**を行い、使い捨て手袋を着用する。←  
※使い捨て手袋は二重に装着しなくて良い。←  
※全員陽性者の居室をそのままケアする場合は装備変更しなくて良い。←  
（移動はバルコニーを使用）←
- 感染状況が落ち着くまで、**排泄カートの使用は中止**する。←  
排泄介助の際は各居室前に設置してある机の上から随時必要物品を取り介助に入る。←  
使用済オムツ・清拭については**個々にビニール袋**に入れて上で居室トイレ周辺に一時置いておき、**排泄介助終了後にまとめて回収**する。←





## 指摘していただいたポイント①



### 個人防護（PPE）の見直し

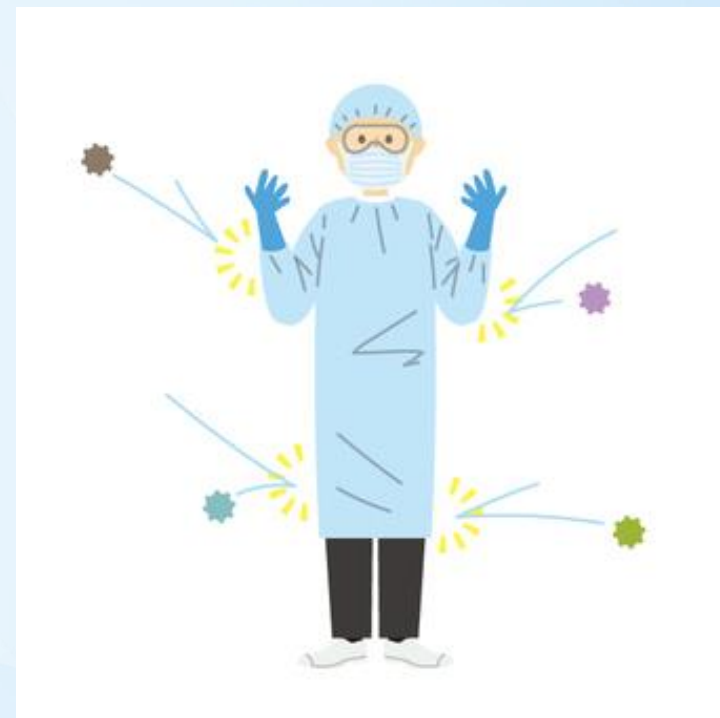
○N95マスク

○ガウン

○手袋

○フェイスシールド

○不織布キャップ





## 指摘していただいたポイント②



レッドゾーンからクリーンゾーンへは一切物品を持ち込まない

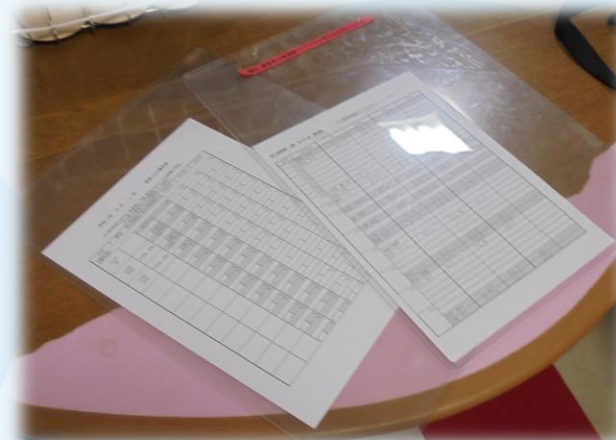
- 職員が日常的に使用している筆記用具
- 食事摂取確認表などの表
- 『PHS』 『インカム』
- 『体温計』 『血圧計』 『パルスオキシメーター』 等のバイタル測定用物品
- 経管栄養用ワゴンや処置に使用する医療用カート等



## 指摘していただいたポイント②



筆記用具は全てレッド  
ゾーン内に準備



表はクリアファイルに  
入れてクリーンゾーンへ



- PHSやインカムの充電器もレッドゾーンに設置
- 他日常的に使用する物品を設置
- クリーンゾーン手前に消毒用の机を設置



## 指摘していただいたポイント③



PPE（個人防護）の脱衣をする際は必ず手順を見ながら行う



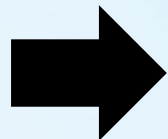


## 指摘していただいたポイント④



### 手洗い・手指消毒の徹底

- 1ケア1手洗いの実施
- 感染下（レッドゾーン）ではアルコールでの手指消毒の実施
- 職員への周知・徹底





## 感染対応確認のすすめ



- ① 日々実施している感染症対応が適切にできているかの確認
- ② 感染症が発生したフロアリーダーが他フロアの状態を確認しアドバイスを実施
- ③ 日々のフロア・居室内の清掃・消毒状況について確認





## 終息後の課題

- ①口腔ケア
- ②多床室での食事介助
- ③ICT機器の活用（インカム・タブレット端末等）
- ④食事席について
- ⑤標準予防策の適切な実施
- ⑥ADL低下防止







## 考察

- ①適切な感染症対応ができていれば、感染拡大は防ぐことができる。
- ②現場で発生している見落としに注意する。
- ③情報の共有は感染フロアだけでなく、「全体」で行うことが重要。
- ④医療（浴風会病院）との連携
- ⑤法人内部での情報共有





## 最後に

- 職員一人ひとりが適切な感染症対策（個人防護等）を実施すれば感染拡大や感染を防ぐことができます。
- 日々の感染症対策をしっかりと実施して、感染を予防しましょう。

